


提出仕様書番号 HS-B017

転落防止可動柵用ブランチケーブル  
(転落防止可動柵用分岐付ケーブル)  
仕 様 書

 住友電工産業電線株式会社

Sumitomo Electric Industrial Wire & Cable Inc.

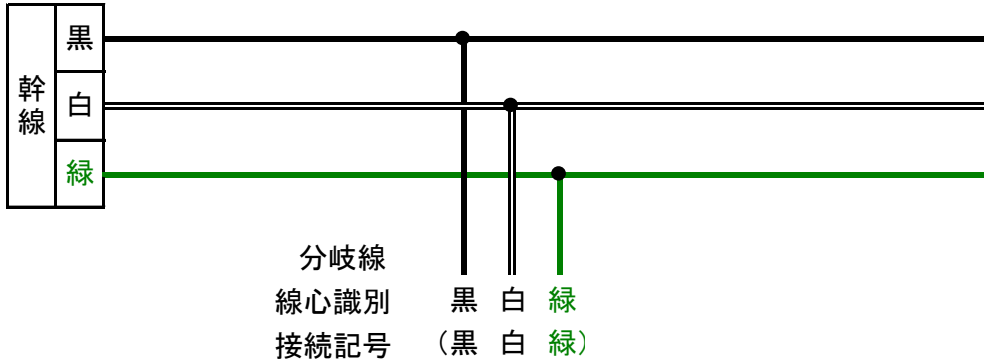
ハーネス技術部

ハーネス技術グループ

1. 適用範囲

本仕様書は、転落防止可動柵の600V以下の回路に使用される分岐付ケーブルについて適用する。  
 準拠規格：日本電線工業会規格 JCS4376 分岐付ケーブル

2. 分岐線の結線略図(例)



3. 構成

分岐付ケーブルのケーブルサイズ、分岐間隔等は、個別仕様書に添付する系統図によるものとする。

- (1)分岐線の出る方向は、系統図の通りとする。
- (2)分岐線の長さは系統図の通りとする。  
 (分岐線は、系統図に示す長に切断したものを取付けるものとする。)
- (3)分岐ケーブル(以下ケーブル)長さ及び分岐間隔の長さは、系統図に示す長さに対し、以下の通りとする。
  - ①ケーブル総長  $-0\%, +1\%$
  - ②分岐間隔  $0 \pm 1\%$  (10m以下の分岐間隔については $0 \pm 3\%$ とする。)
 従って、ケーブルの中間支持にあたって中間支持装置をケーブル布設後設置する等の配慮が必要です。

4. 検査項目

検査は以下の項目について実施する。

項目	良否判定基準
導通	断線及び誤結線がないこと。
耐電圧	規定の試験電圧に1分間耐えること。
絶縁抵抗	200MΩ以上のこと。
外観	異常のないこと。

5. ドラム巻

ドラムに巻くケーブルの方向は、個別仕様書に添付する系統図による。

6. 表示

(1)幹線ケーブルの分岐部付近に白テープで灯具番号を表示するものとする。

例 

1L (黒白緑)
----------

(2)ケーブルの表示

- 1. 製造者名又はその略号
- 2. 製造年又はその略号
- 3. 分岐付ケーブルに使用するケーブルは、旧製造年号が混在する場合があります。

(3)ドラムの表示

- 1. 件名
- 2. 幹線No.
- 3. 線種・サイズ
- 4. 幹線総長
- 5. ドラムの回転方向
- 6. 製造業者名
- 7. 製造年

7. 分岐部の寸法

分岐部の構造及び寸法は、付図1(分岐部構造及び寸法図)による。

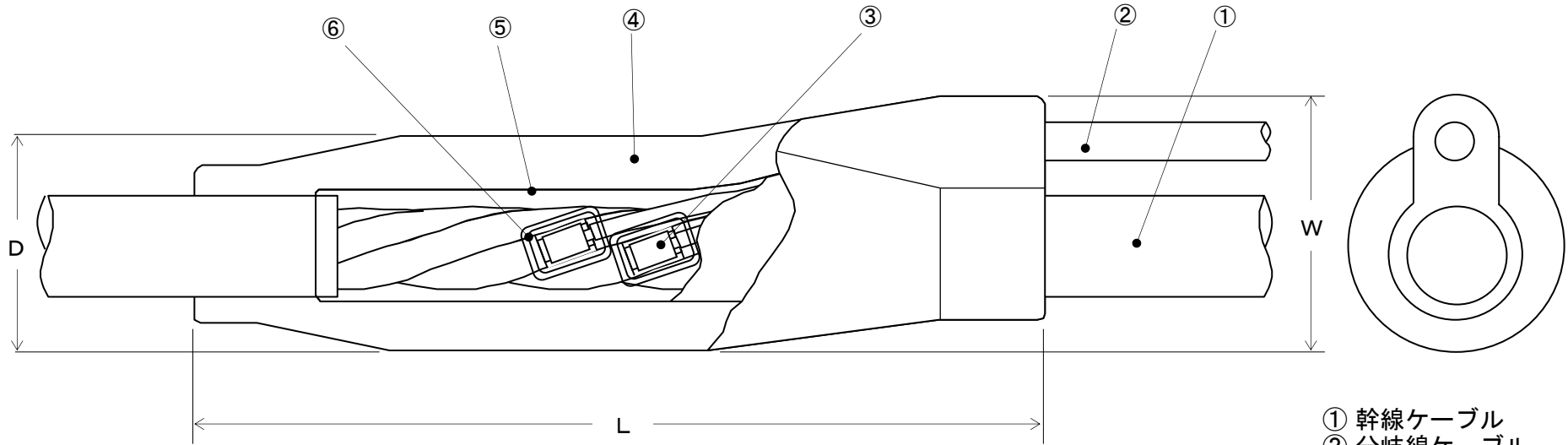
8. ケーブルの端末処理

ケーブルの端末処理は、付図2(ケーブル端末処理図)による。

9. その他

ケーブルグランド又はパッキンなどの御使用の都合により、特定のケーブル外径交差を必要とされる場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

付図 1. 分岐部構造及び寸法図



- ① 幹線ケーブル
- ② 分岐線ケーブル
- ③ 分岐スリーブ
- ④ ビニルモールド
- ⑤ 押さえテープ
- ⑥ 相間絶縁処理

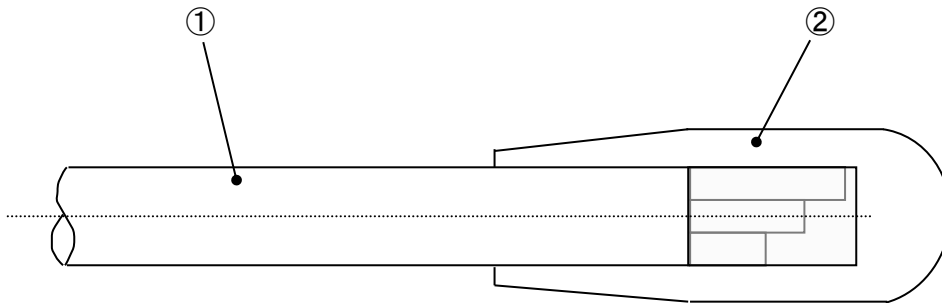
幹線ケーブル	分岐線ケーブル	各部の寸法		
		L	D	W
600V CV 3×14mm <sup>2</sup>	600V CV 3×2mm <sup>2</sup>	150	45	55
600V CV 3×22mm <sup>2</sup>	600V CV 3×2mm <sup>2</sup>	200	50	61
600V CV 3×38mm <sup>2</sup>	600V CV 3×2mm <sup>2</sup>	200	70	92

注：各部の最大の値とし、これより小さくなる場合があります。

単位 (mm)

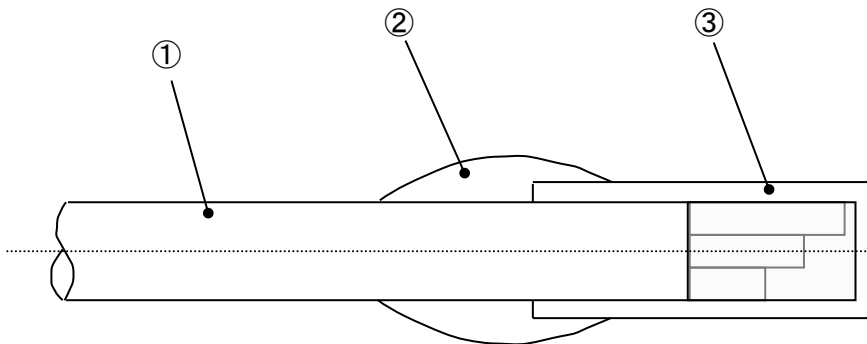
## 付図 2. ケーブル端末処理図

### 1. 幹線永久端末処理 [ 図中記号 : ]



- ① ケーブル
- ② 樹脂モールド

### 2. 幹線電源側及び分岐線端末処理



- ① ケーブル
- ② ビニルテープ
- ③ ビニルキャップ